

ふちゅう 町議会だより

第168号

令和5年2月1日
広島県府中町議会



みんなの力でまちを守る！（消防出初式）

< 目 次 >

- 12月定例会、10月臨時会の概要…………… 2～3
- 町政のここが聞きたい 一般質問
不登校児童生徒の支援は ほか…………… 4～10
- 常任委員会レポート…………… 11
- 総務文教委員会 現地踏査・議会の動き…………… 12



12月定例会
YouTubeで公開中！

府中町議会【公式】

検索

※視聴環境により、通信料がかかる場合があります。

クラス増に備えて

府中小学校の教室を増設



12月定例会

令和4年第5回定例会を12月9日から13日までの5日間の会期で開催しました。初日は町長報告を受けた後、一般会計補正予算をはじめとする町提出議案13件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

12日からは一般質問を行い、13日は一般質問に引き続き、議員提出議案1件について原案のとおり可決しました。

学校給食費 町の管理に

(令和5年4月)

町内各小中学校で行っている学校給食費の徴収や管理を、令和5年度から町が行うため、必要となる事項を定めた条例を可決しました。

今回の変更は、教職員の働き方改革の一環として実施されるもので、給食費の額や給食の提供体制などに変更はありません。



補正予算 主な取り組み

※一万円未満を四捨五入しています。

府中小学校の校舎改修

(教室を増設)

1, 897万円

令和5年度からの学級増(2クラス)に対応するため、校舎3階ホールを教室として使用するにあたり、間仕切り壁の設置など施設修繕を行います。



出産・子育て応援交付金

6, 624万円

「伴走型の相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施する事業に関し創設された国の新たな交付金を活用し、令和4年4月1日以降に妊娠、出生の届け出をした人に、妊娠届出時5万円、出生届出後5万円(計10万円)を支給します。※令和5年2月以降に開始予定。

くすのきプラザの空調設備を

改修

(令和4・5年度)

1, 311万円

設置から15年が経過している、くすのきプラザ空調設備の修繕を行い、機能回復を図ります。

令和4年度中に契約を締結し、令和5年度にかけて改修を行う予定です。

職員等の一時金と若年層月例給を引き上げ

2, 845万円

令和4年8月の人事院勧告に準じ、議員、町長、副町長、教育長、職員の一時金等の引き上げを行います。

・一時金 +0.1月分

※再任用職員・会計年度任用職員は0.05月。

・月例給 +0.28%

定例会の採決結果

12月定例会は全議案が全会一致となりました。

◆町長提出議案

議案	結果
府中町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決
府中町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決
府中町職員の給与に関する条例及び府中町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決
令和4年度府中町一般会計補正予算（第6号）	可決
令和4年度府中町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
令和4年度府中町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
令和4年度府中町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決
令和4年度府中町下水道事業会計補正予算（第2号）	可決

議案	結果
府中町議会議員及び府中町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	可決
府中町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
府中町学校給食費の管理に関する条例の制定について	可決
府中町と広島県との間における行政不服審査会事務の事務委託に関する規約の変更の協議について	可決
広島県市町総合事務組合規約の変更の協議について	可決

◆議員提出議案

次の意見書を可決し、内閣総理大臣ほかに提出しました。

議案・概要	結果
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書	可決

10月臨時会

補正予算を可決 ― 新型コロナウイルス対策関連 ―

令和4年第4回臨時会を10月28日に開催し、新型コロナウイルス感染症対応に関する町独自の支援策などを盛り込んだ令和4年度一般会計補正予算議案1件の審議を行い、原案どおり可決しました。

新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保

3,753万円

オミクロン株対応ワクチンの接種、小児（5歳～11歳）への追加接種、乳幼児（6か月～4歳）への接種等に関して必要となる経費を追加するものです。

等の価格高騰による負担増に対する支援として、住民税非課税世帯等に対して1世帯当たり5万円を給付します。

町民生活支援クーポン

1億3,250万円

国からの交付金追加交付を受け、9月の補正予算にて決定した町民生活支援クーポンの金額を2500円上乗せし、1人あたり5000円のクーポン券として配布します。
※令和4年12月に発送済。



電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金の給付

2億8,363万円

昨今の電力・ガス・食料品

◆採決結果（全会一致）
・令和4年度一般会計補正予算（第5号）：可決

町政のここが聞きたい

一般 質問

町行政全般に対し、14件の一般質問が13人の議員から提出され、町執行部の所信をたしました。

※各議員の質問欄に掲載している二次元コードから、質問の録画映像がご覧になれます。

INDEX

もくじ

P4 益田 芳子 議員

・不登校児童生徒の学びの場を拡充へ

P5 力山 彰 議員

・安定的な電力確保を

狩野 雄二 議員

・民間企業との災害協定について

P6 木田 圭司 議員

・公共施設の駐車場の有料化について

宮本 彰 議員

・教職員の働き方改革について

P7 橋井 肇 議員

・带状疱疹予防接種の費用助成の導入を

山口 晃司 議員

・ゴミの戸別収集について

P8 坂田 栄一 議員

・有害鳥獣被害に対する防御ネット補助金について

児玉 利典 議員

・環境施策の方向性について

P9 二見 伸吾 議員

・介護保険と老いの住まい

寺尾 光司 議員

・無園児（未就園児）家庭の支援について

P10 齋藤 昇 議員

・チェリーゴード空城パークの再整備について

田中 伸武 議員

・向洋駅周辺土地区画整理事業と広島市東部地区連続立体交差事業について

答

教育相談体制として、

全国的に不登校児童生徒数の増加傾向が続いています。コロナ禍により、人との関わりに制限をかけられた学校生活の中で、ストレスを発散する場も少なく、登校意欲が低下し、時に大きな不安を抱くようになったことも要因と考えますが、町としての不登校対策の現状を伺います。



益田 芳子 議員

答

実態に応じた支援を継続

問

不登校児童生徒の支援は

所を確保しています。

問

子どもたちの学びを

支え、進学や就職の希望が叶うよう、多様な学びの場を整備することも求められますが、今後の取り組みは。

答

町の不登校児童生徒

の割合は県平均よりも低く、取り組みの成果と考えています。また、今年度には県教育委員会が、学びを支援する

その他の質問

・妊婦、子育て家庭の孤立を防ぐ伴走型相談支援の充実を



居場所として「SCHOOL'S」を東広島市に開設し、町内児童生徒も利用しています。今後も、個々の実態に応じた支援を継続していきます。



学びを支援する「たんぽぽの部屋」



価格に加えて、様々な視点で比較検討

問 電力自由化により、町有施設の電力供給は、一般競争入札により契約してきました。ところが、昨今の世界情勢の影響を受け、契約事業者が本年6月をもって事業を廃止しました。どのような影響がありますか。

答 7月以降、電力の最終保障供給制度により供給を受け、行政運営上の支障はありません。一方、費用面では基本料金などが割高となり、約9500万円の追加負担を見込んでいます。ただし、この負担増には社会情勢を背景とした燃料費高騰によるものも含まれ、事業廃止



力山 彰 議員

答 適時適切な手法を採用

問 電力調達に対する考えは



とならなくても負担増は避けられなかったと考えています。

問 今後の安定的な電力確保に向けて、入札条件や入札方式などの対策は。

答 電力自由化の目的や電気料金の原資の多くが税金であることを考慮すると、第一義的には価格競争に委ねるべきと考えます。ただし、他の自治体では、事業者に対して電気料金削減の提案を求めたり、二酸化炭素削減の取り組みを求めるなど、事業者の知見やノウハウを活かした契約方式も見受けられます。当町でも、契約時点での適時適切な手法を採用したいと考えます。

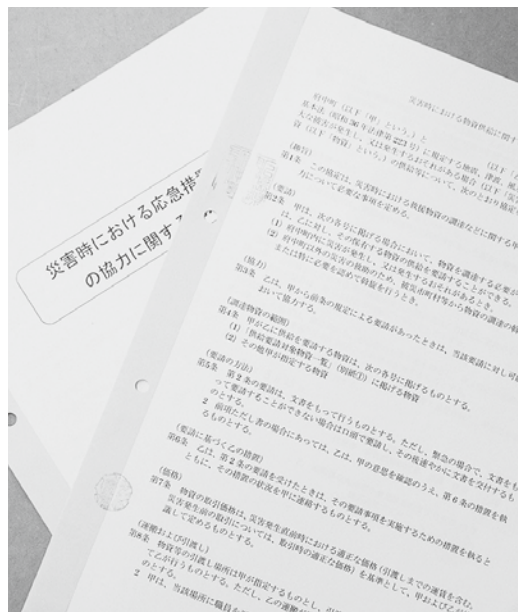
答 現在、51団体と協定を締結しています。内容は、相手方の事業分野に応じ、医療救護、

問 町では、災害発生時に行政の対応を補う取り組みとして、民間企業との間で様々な災害協定を締結しています。支援内容や協定件数等、現状を伺います。

答 企業からの申し出によるケースが多くなっています。今後は避難者ニーズを的確に捉え、様々な分野にアプ

問 協定締結へ向けての働きかけは。

応急復旧対策、物資提供、施設提供、災害広報など多岐にわたっています。



いざという時、実効性あるものに

ローチしたいと考えます。また、締結数を増やす他にも、締結済み団体と連携を密にし、協定の実効性を高めることが重要と考えています。

問 相手方も被災し、支援がでなくなる事態も想定されますが、リスク回避の対応は。

答 飲料水や食料といった生活物資、応急措置などは、複数の企業と協定を締結しています。また相互応援協定により、県内自治体間で連携が取れるようにしています。これからは、県外の自治体との協定を検討するなど、引き続き防災体制の強化に取り組めます。



狩野 雄二 議員

答 一層の連携の強化に努める

問 企業との災害協定の状況は





木田 圭司 議員

問

公共施設駐車場の有料化は

答

様々な観点・角度から検討



問 チェリーロード空城パークなど、利用が増加する公共施設駐車場の整備、管理に要する費用の財源確保や駐車場の効率的に稼働させる方法として、駐車場の有料化や管理を民間委託する方法があると思います。町の検討状況は。

問 有料化には賛否があると思いますが、現在進めている施設使用料等の見直しと一緒に、駐車場の有料化を検討する考えはありますか。

答 施設に併設する駐車場の有料化は、重大な課題ではありますが、一時期に見られた過度

の混雑や不適正利用は現在確認されていません。有料化は利用者の負担増となり、丁寧な説明が必要です。目的や負担の根拠を明確にし、管理運営経費の削減、近隣市町の状況など様々な観点、角度から慎重に検討を進めた다고考えます。

答 町の公共施設は、昭和40年代以降の急激な都市化に伴って整備されたものが多く、老朽化に伴い、今後、維持管理や更新に多額の費用が必要になると予想されます。このため、駐車場の有料化も新たな財源確保の一つとして検討していた経緯があります。



適正利用と有効活用を図るために



宮本 彰 議員

問

学校における働き方改革は

答

効果的かつ効率的に進める



問 町内小中学校における過去3年間の教員不足の状況は。

答 年度初めに教員が不足している状況はありません。ただし、任期途中の退職などによる代員教員の確保には、毎年苦慮しています。

問 時間外勤務を月45時間以内とする文部科学省の示す基準がありますが、現状と課題は。

答 平成30年度は教員の約70%が月45時間超の時間外勤務を行っていましたが、令和3年度は8月を除き、月平均50%を切る程度に改善されました。しかし今年度に入って、コロナ禍で中止されていた行事が再開された影響が増加傾向が見られ、継



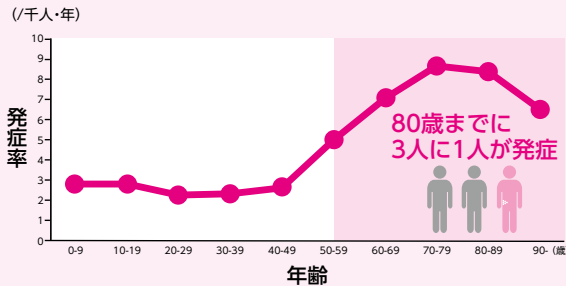
教員の負担軽減が急務

続して働き方改革を進める必要があります。

問 時間削減のみではなく、教育の質の向上についても取り組む必要があると思いますが、現状と課題は。

答 各校で教育活動の目的、趣旨を焦点化して必要な時間を有効活用できるよう工夫しながら、時間削減と教育の質の向上の両方に取り組んでいます。引き続き、限られた時間による効果的かつ効率的な業務改善を進めます。

年齢別の帯状疱疹発症率



調査の対象と方法

2009～2015年に帯状疱疹を発症し、宮崎県皮膚科医会に属する医療機関(皮膚科診療所36施設、総合病院の皮膚科7施設)を受診した患者34,877例の性別および年齢を調査した。

shiraki K., Toyama N. et al.: Open Forum Infect Dis. 4(1).ofx007.2017より作図

50歳代から急増する帯状疱疹

問 帯状疱疹は、多くの人が子どものときに感染する水ぼうそうのウイルスが原因で起こります。ウイルスは体内に潜伏していて、水ぼうそうの経験のある人なら誰でも帯状疱疹になる可能性があります。そのため、50歳以上の

答 帯状疱疹ワクチンは、法令で定められた定期予防接種ではなく、任

人を対象としたワクチン接種で発症リスクを下げ、重症化を予防できますが、接種に関する周知啓発や接種助成に対する町の考えを伺います。



橋井 肇 議員

答

国・県の動向を注視して

問

たいじょうほうしん
帯状疱疹予防接種の費用助成



意予防接種のため、医療機関ごとに定められた費用を全額自己負担することになっていきます。ワクチンは2種類あり、接種回数が1回の生ワクチンは約1万円、接種回数が2回の不活化ワクチンは2回で計約4万円以上の負担となります。県内には接種費用の助成を行っている市町はありませんが、全国的には一部費用の助成をしている自治体もあります。町では今のところ費用助成を行う予定はありませんが、国、県の動向を注視しながら研究していきます。またワクチン接種に関する情報も他自治体の動きとあわせて、ホームページ等で周知啓発していきます。

問 来年度から、高齢者や障害者世帯など、ごみステーションへごみを出すことが困難な世帯に対し「ふれあいごみ収集事業」の開始が予定されています。こうした世帯は災害時の避難の際も支援を必要とすることが想定され、地域での関係づくりが重要です。この事業を



正しく使って、きれいなまちに

町内会に委託する考えはありませんか。

答 地域コミュニティによる支援は、つながりや絆ができるといった利点がある一方、支援者の高齢化や担い手不足から中止となった事例も聞いています。持続可能な制度とするため、これまでどおり専門業者へ委託したいと

答 設置場所や管理方法、費用など課題も多く、町による管理は困難と思われます。現在の町内会と町が役割分担するごみステーション方式の維持が、従前どおり地域の環境衛生の保持につながると考えます。ルールは、利用者同士の話し合いで決めるものとなりますが、町としても相互協力の啓発に取り組ま

問 ごみステーションは町内会が管理していますが、非加入者も利用しており、利用ルールの徹底などが大きな負担との声があります。町で管理するなど負担軽減策は。

思います。



山口 晃司 議員

答

相互協力の啓発に取り組む

問

円滑なごみ出しのための支援





坂田 栄一 議員

問 鳥獣被害防除の課題は

答 活用しやすい補助制度へ



問 市街地での有害鳥獣の目撃情報が数多く寄せられています。被害を未然に防ぐため、町の「有害獣防除用施設設置事業補助金」制度があり、その概要は。

答 被害防止のために、有害獣防除用施設を設置する農林業を営む人に対し、費用の一部を補助する制度です。防除用施設とは、電気柵、防護柵または防除網で、それぞれに大きさや設備要件を設けています。補助率は2分の1で、補助限度額は、電気柵3万5千円、防護柵6万6千円、防除網2万2千円です。

問 最近の補助金交付件数と金額及び現状と課題は。

答 補助金交付は、令和2年度に防護柵1件で6万6千円、平成29年度に電気柵・防除網1件で5万147円です。活用件数が少ない原因は、平成16年度から行っているため、対象と



対策しても続く鳥獣被害

なる人に一通行き渡ったからと思われる。しかし、被害は続いているため、補助対象者の意見を伺いながら活用しやすい補助制度への見直しも検討したいと考えています。



児玉 利典 議員

問 環境施策の方向性は

答 持続可能な社会目指す



問 環境に関する世界的動向は近年大きく変化する、特にカーボンニュートラルの実現に向けた動きが加速化しています。町も、環境基本計画など見直しに取り組んでいますが、その視点について聞きます。

答 近年の地球環境をめぐる社会情勢が大きく変化し、特に資源循環による環境負荷の低減、国内外において脱炭素化社会の実現に向けた動きの加速化が目立ちます。また、SDGs採択にもあるように、持続可能な社会を未来の世代に引き継いでいくことを目指しています。

問 カーボンニュートラルに向けて、住民や事業者との連携は。

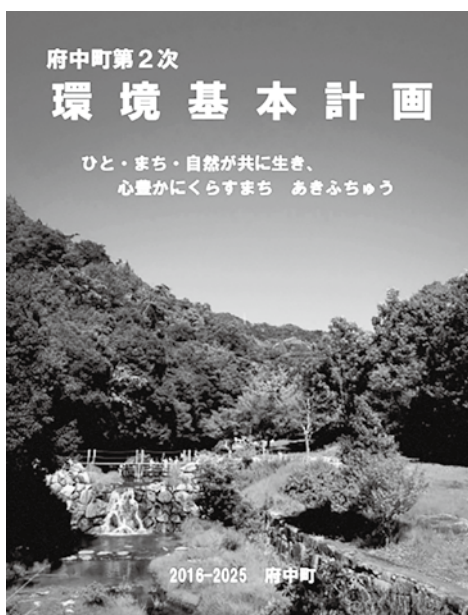
答 環境基本計画の改定にあたっては、2050年カーボンニュートラル宣言の実現に向け、「低炭素型社会の推進」、「地域協働による環境づくりの推進」を基本方針に掲げる予定です。国、県と連携し、また

町民・事業者と一体となるなど、温室効果ガスの削減に向けた取り組みをさらに進め、まちづくりを推進します。

(参考)

◆カーボンニュートラル 温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること。

◆SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標



連携・協働して進める環境まちづくり



二見 伸吾 議員

問

高齢者入居施設の整備は

答

将来を見据えて取り組む



望む地域や場所で
安心して暮らし続けるために

問 高齢化が進み、認知

症となる人も増加する状況が続いています。在宅での介護の充実とともに、必要な場合には施設に入れる状況をつくる必要がありますが、介護施設など、高齢者の入居施設は現時点で充足しているのでしょうか。

答 町内の高齢者居住関

連サービス入居状況は、100%を超過している施設はなく、現時点では充足しています。

問 今後、入居施設が不

足する可能性が十分にありそうです。そうなる前に手だてを講じる必要があると考えますが、

町の見解は。

答

高齢者の増加を考慮し、現在の計画でも各施設とも微増を見込んでいますが、令和7年度には、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となることから、次期計画では、さらに慎重に将来を見込む必要があります。高齢者人口や要支援・要介護認定者数推計に基づいた需要と、地域の介護保険施設等サービス提供体制の実態把握に努め、実情に応じた介護施設、高齢者の入居施設の整備を進めます。また、在宅支援サービスの充実、在宅介護も含め、将来を見据えた計画の策定を進めます。



寺尾 光司 議員

問

無園児家庭への支援は

答

孤立しないよう支援する



問 0〜5歳の未就園児

(無園児)の保護者は、母親ひとりで子育てをしている例も多く、子育てに関し、悩み、不安を感じている人の割合が高いと言われています。そこで、町内の状況と支援について伺います。

問

虐待リスクと予防のための配慮、支援は。

答

虐待防止については、通告があった場合、児童相談所など関係機関と連携し児童の安全確保を図っています。また、子育ての悩みから虐待に至るケースもあることから、「赤ちゃん訪問」などによって

問

保育所等を活用した国のモデル事業(新たな一時預かり事業)などに対する考えは。

答

潜在的な待機児童があり、モデル事業の実施は厳しい状況ですが、今後の入所状況を見ながら検討します。



誰もが安心して子育てできる環境に



齋藤 昇 議員

問 空城パークの再整備は

答 調査結果や安全性で検討



リニューアルを計画中のアスレチック遊具

問 チェリーゴード空城

パークは、開園から約40年が経過しています。再整備のために、町民4千人と来園者千人に対するアンケート調査が今年度実施されました。

園内の冒険の森アスレチックは2か所が使

用禁止になっていますが、今後の対応は。

答 アスレチック遊具は、

昭和59年に整備され、木材の腐朽や地面の浸食で安全性が低下しており、部分的な修繕では対応困難です。今後は、アンケート結果や遊具の安全性を踏まえ、

リニューアルを検討します。

問 憩いの場や休憩所の増設は。

答 国の利用調査結果でも、ゆつくり休める公園を望む声が高く、50歳以上で約40%を占めていました。こうした結果を踏まえ、休憩所の数や配置についても検討したいと考えます。

問 公園内のトイレには利用しにくいと言われる和式が4基ありますが、洋式化する考えは。

答 国のトイレに関する調査では、洋式を好んで利用する割合が男女とも半数を超えています。再整備計画にはありませんが、ニーズを踏まえ今後検討します。



田中 伸武 議員

問 区画整理・連立事業の展望

答 連携して賑わいあるまちに



問 広島市東部地区連続立体交差事業の進捗と見通しは。

答 事業は、令和元年10月に事業認可を取得し、期間は令和19年度末まで、工事区間のうち府中町は令和12年度末完了見込みです。現在仮線工事を行っており、来年春には1線目の工事が完了し、仮線で運行が始まる予定です。町負担額は約31億円、これまで約5億円を負担済で、残りを令和12年度までに負担する計画です。

問 新しいまちづくりの展望は。

答 駅舎はJRが設計を進めています。北口駅

haのうち約77%が完了、事業費ベース177億円のうち約74%を支出済みです。仮線撤去後の工事もあり、昨年、事業期間を令和15年度までに変更しました。

前広場は、つばきバスやタクシの乗り入れを計画し、南口駅前広場は、駅利用者の送迎が可能なバリアフリー化を含め、歩行者優先空間を計画しています。今後も、地域の皆さんの意見を踏まえ、安心・安全で賑わいのあるまちづくりを進めます。

問 向洋駅周辺土地区画整理事業の進捗と見通しは。

答 令和3年度末の面積ベースで全体7・82

仮線工事や街区整備工事が着々と進む



仮線工事や街区整備工事が着々と進む



委員会レポート

3つの常任委員会（総務文教・厚生・建設）の活動状況を報告します。

総務文教委員会

公共施設の維持管理に関する取組状況を調査

◆第6回委員会（10月19日開催）

- 最近の公共施設の維持管理における問題点について
- 取り組み状況について説明を受けた後、くすのきプラザの空調設備を踏査。
- ※現地踏査の様子は12ページ。



◆第7回委員会（11月28日開催）

- 「総務文教委員会所管の組織・事務分掌」について
- 【所管】総務企画部（政策企画課、総務課、情報管理課）、財務部（財政課、管財課、税務課、債権管理課）、危機管理監、会計室、消防本部、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会、議会事務局、他の委員会に属さない事項

厚生委員会

有害鳥獣の捕獲・通報状況を確認

◆第7回委員会（11月29日開催）

- 「厚生委員会所管の組織・事務分掌」について
- 【所管】福祉保健部（福祉課、子育て支援課、高齢介護課、保険年金課、健康推進課）及び町民生活部（自治振興課、住民課、環境課、下水道課）
- 有害鳥獣の捕獲状況について
- 捕獲体制と直近の捕獲・通報状況を確認。
- ※今年度は過去最高となる見込み。



- 下水道工事の変更契約締結について報告

【工事箇所】千代幹線（新地）、関連公共下水道（みくまり一丁目）

建設委員会

道路舗装補修工事契約の締結について報告

◆第6回委員会（11月11日開催）

- 「府中町内の大規模盛土造成地」について
- 対象地調査の進捗状況等について確認。
- ※広島県HPでも対象地マップを公表中。
- 「大規模盛土造成地マップの公表について（広島県）」

◆第7回委員会（11月30日開催）

- 「建設委員会所管の組織・事務分掌」について
- 【所管】建設部（都市整備課、維持管理課、建築課、区画整理課）
- 道路舗装補修工事と南体育場外壁改修工事の2件に関し、「工事請負契約の締結」の報告
- 【舗装箇所】埃宮総社線、瀬戸ハイム中央道路、青崎25号線、柳ヶ丘南北線、大須上岡田線

議会用語の基礎知識③ 定例会と臨時会



◆本会議とは

全議員が議場に集まって行う会議のことを本会議と呼びます。この本会議において、議員は、議案などの案件について説明を聞き、疑問を質（ただ）し、意見を述べ、議会としての意思を多数決で決定（議決）します。本会議には定例会と臨時会があります。

◆定例会とは

定例会は、付議事件※の有無にかかわらず、定期的に招集される議会のことをいいます。地方自治法により、毎年、条例で定める回数を招集することになっており、府中町議会では年4回と定め、3月、6月、9月、12月に開催しています。一般質問は定例会のときに実施されます。

※付議事件…議案など議会で審議される事項のこと。

◆臨時会とは

臨時会は、定例会のほかに臨時の必要がある場合、必要な特定の事件に限って審議するために招集される議会のことをいいます。臨時会については回数の制限はなく、必要に応じて開くことができますが、定例会と異なり、原則、あらかじめ付議された案件の審議しかできません。

議会の動き

10月

- 4日 議会報特別委員会
- 13日 議会報特別委員会
- 19日 総務文教委員会
- 28日 臨時会

11月

- 11日 建設委員会
- 28日 総務文教委員会
- 29日 厚生委員会
- 30日 建設委員会

12月

- 7日 議会運営委員会
- 8日 議会報特別委員会
- 9日～13日 12月定例会
- 13日 議会報特別委員会
- 23日 議会報特別委員会
- 26日 厚生委員会

総務文教委員会 現地踏査

くすのきプラザ空調設備の状況を確認

10月19日、総務文教委員会の委員6人が、公共施設の維持管理に関する施設の例として、安芸府中生涯学習センターくすのきプラザ空調設備の踏査を行いました。

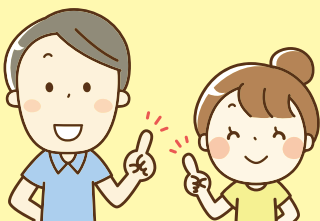
現地では、担当職員から説明を受け、設備の現状を確認しました。



※令和4年12月補正予算に、次年度にかけて修繕を行うための関係予算を計上。（詳しくは2ページ）

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は3月上旬の予定です。



事前申し込みは不要です。
ぜひ、お気軽にお越しください。

表紙の紹介



新春の晴れ空の下、1月8日にチェリーゴード空城山パークで消防出初式が3年ぶりに開催されました。写真は少年少女消防クラブによる初期消火訓練の様子で、多くの観客が見守る中、真剣な眼差しで訓練に取り組む子どもたちの姿に頼もしさを感じました。

編集後記

あけましておめでとうございませう。卯年にちなみ、皆さまにとって飛躍の年となりますよう祈念申し上げます。

さて、私の新年は1月4～8日の日程で東京体育館を会場に開催された、全日本バレーボール高等学校選手権大会（春の高校バレー）に出場した学校のサポーターからスタートしました。

新型コロナウイルスが出たことによって、大会3連覇をかけて臨んだ学校が1試合もすることなく「敗退」する事態に。この学校を含め、4校の3年生が最後の大会を欠場という形で終えたことに言葉が見つかりません。同行した県代表校は、目標の日本一達成は叶いませんでしたが、トレーナー兼感染対策責任者でもあった私としては、無事に大会を終えることができたことを喜ぶ一面、あらためてコロナ禍の一日も早い収束を願う年明けとなりました。

（三宅健治）